

広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書

記入日		2018年 5月20日	
派遣プログラム	<input type="checkbox"/> HUSA <input checked="" type="checkbox"/> JSAC <input type="checkbox"/> UMAP		
留学先大学	ネバダ大学リノ校 I E L C 大学 (国名:アメリカ)		
所属学部・学科等名	I E L C		
在籍身分	I E L C生		
留学期間	2017年 8月 20日～ 2018年 5月 12日		

<b>1. 留学するまで</b>	
留学への志望動機・派遣先大学を希望した理由	卒業後、英語を使う職業につきたいと考えており、英語力をあげるため。
留学準備を始めた時期 (応募する何か月前ですか?)	プログラムについては応募する1年前くらいから真剣に考え始め情報収集をし、同時にTOEFLの勉強を始めた。
事前準備について (どのような準備をしたか、しておけばよかったか)	とにかく、英語での会話になれておくことが一番だと思います。

<b>2. 渡航について</b>	
ビザについて	ビザの種類: F-1
	ビザ申請先: 駐大阪・神戸米国総領事館
	提出書類: パスポート、オンライン申請書フォーム(大使館のHPに行き見て下さい)、証明写真、I-20
	手続きに要した日数: 約1カ月
その他必要な事前手続き	
出国年月日	2017年 8月 20日
経路(往路)	福岡空港→インチョン→シアトル→リノタホ
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有(大学関係者・その他○) <input type="checkbox"/> 無
到着後オリエンテーションの有無・期間・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 有(期間: 2日間 内容: 授業の内容、大学での生活など) <input type="checkbox"/> 無
帰国年月日	2018年 5月 13日
経路(復路)	リノタホ→ロサンゼルス→成田→福岡



留学先での住居全般に関するアドバイス	リノインターナショナルハウスという留学生向けのシェアハウスに住んでいました。良くも悪くも様々な文化、考えの学生がおり、自分の行動も省みるいい機会になります。
(2) 医療について	
保険の加入先	<input checked="" type="checkbox"/> 本学指定の保険 <input type="checkbox"/> 留学先大学指定の保険 <input type="checkbox"/> その他 (                      )
保険の補償内容	補償額 死亡 1億円 入院1日 1億円 その他 (                      )
留学前後での予防接種の必要の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (種類: 3種類ほど    回数: 2回もしくは1回    医療機関名: おだ内科クリニック) <input type="checkbox"/> 無
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	病院は利用していないのでわかりません。
留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	日によって気温の変動が大きく、朝と夜の寒暖差も激しいので体調を崩さないように気をつけて下さい。
(3) 危険を感じた地域, 状況, 安全管理において注意したこと	
特に危険なことはなかったですが、サンフランシスコに旅行した際にホームレスの人に突然大声で怒鳴りつけられびっくりしました。	
(4) 食生活についてのアドバイス	
自炊だったので、あまり困ることはありませんでした。アジアマーケットに行けば、少し高いですが日本で売っているインスタント食品や調味料なども買うことができます。	
(5) 気候・服装についてのアドバイス	
1日のうちで寒暖差が激しいので、調節しやすい服装をされるといいと思います。	
(6) 学内外の施設・設備環境について (インターネット環境含む)	
図書館やジム、フードコートや学内のカフェ、売店などがかなり充実しています。積極的に利用することをおすすめします。学内のWi-Fi環境もとても良く、大学内の建物ならほとんどどこにいてもWi-Fiは使えますし、街中でもバスステーションやカフェなどWi-Fiが使えるところがあります。	
(7) 現地学生や地域との交流について (どのような, 機会・きっかけがありましたか?)	
IELCにはネイティブはいません。なので、会話/パートナーを積極的に利用したり、クラブに参加したりするとネイティブの友だちもつくりやすいでしょう。	
(8) 習慣やマナーの違いによる対人関係等, 注意すべきこと	
様々な文化、考え方の人と出会うと思います。個人的には、日本人のほうが気になることが多いので、相手は何も思っていないくてもこちらには不快、ということが多かったように思います。少し損な感じもしますが、そういったときに自分がどうふるまうのかを考えることは日本人的なものの考え方や文化を見つめ直すいい機会ですし、それらを考慮して、自分は日本人としてアメリカでどう振る舞うのかを考えてみてはどうでしょうか。	



## 9. 自由記述 (1,200 字程度)

### ①留学を終えての所感

9か月は一瞬でおわります。正直にいうと、英語力的には全く満足はしていないのでもう9か月アメリカにいたかったくらいです。もちろんですが9か月で飛躍的に英語力を上げるには努力が必要です。とくにネバダ大学リノ校IELCは自分から行動しないとネイティブと話す機会は多くはありません。会話パートナーを利用したり、クラブに参加してみたりと方法はいくらでもあるので自分にあったやり方を見つけると良いと思います。

### ②留学期間中、最も印象に残った体験・出来事

良かったこと、悪かったことたくさんありましたが、旅行で色々なところに行ったことが特に印象に残っています。日本では感じる事のない雰囲気や景色を楽しむことができました。特に、自分は幼いころから野球をしていたこともあり、メジャーリーグの野球を見たときはとても感動しました。アメリカは広いのでぜひ色々な場所に行ってみてください。

### ③留学の成果、留学前と比較して成長した点

まずは英語力。特に、話せるかどうかは別として失敗を恐れずに積極的に英語で話そうとする態度が身についたと思います。次に、多角的な視点を持てるようになったこと、また逆に自分らしいものの考え方がどういったものかも理解が深まった気がします。何度も書きましたが、今まで触れたことのない文化に嫌でも触れあうこととなります。その経験から、自分の行動や日本の良さ、悪さを見つめ直すこれ以上ない機会です。

### ④今回の留学での経験や成果を今後どのように活かしたいか（将来のキャリアパスも含めて）

私は将来英語科の教師になりたいと思っており、そのために英語力を鍛えたいという動機付けでアメリカに留学をしました。なので、留学期間中に培った英語力やその知識は私の将来のキャリアに直接関わるもので、とても大きな財産になると信じています。ですが、言語の面だけでなく、文化的な側面においても視野を広げることができたり、日本では当たり前のように家族や友人に会えることの有難みなど、日本を離れて暮らしてみないとわからない日常に対する感謝を改めて思いだすことができました。留学をしている間にきっと色々なことを考え、感じるようになると思います。

- ・写真を2~3枚程度、貼り付けてください（写真1枚当たりの容量は、500KB以下に縮小して下さい）。



注1) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HUSA ホームページおよび広島大学ホームページへの掲載、事務室での閲覧や大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます（氏名及び学生番号については、非公開とします）。ただし、公開にあたり不適切と判断された内容については、国際交流グループにて削除等させていただきますので予めご了承ください。